令和７年５月吉日

支所下御寺院各位

越後仏教青年会
会長　澁谷　快阿

新会長就任のあいさつ

謹啓　新緑の候　ご尊台におかれましては、ますますご健勝のことと拝察申し上げます。

令和６年４月より、真言宗豊山派越後仏教青年会（以下、越後仏青）第16代会長に就任いたしました、越後宗務支所34番、本覚院住職の澁谷快阿と申します。日頃より、越後仏青の活動にご理解とお力添えを賜り、心より深く感謝申し上げます。

私が入会したのは、今より14年前、平成22年４月です。越後仏青太鼓衆「天鼓雷音（てんくらいおん）」が発足した翌年でした。入会した年の11月には、柏崎市産業文化会館を会場に、越後仏青による声明と和太鼓のコンサート「～響愛～」が開催され、私自身も太鼓衆として参加させていただきました。

このコンサートでは、越後仏青の結束力、力強さ、そして人々の幸せを願う想いの強さを肌で感じることができました。以来、このような団体に所属し活動に参加できることを誇りに感じています。

この14年間は、偉大な諸先輩方に導かれ、数々の行事の中で会員同士、懇親を深め、絆を強くすることができたと感じています。これもひとえに、堅固な土台を築き上げられた諸大徳の賜物であります。

令和４年に越後仏青創立40周年を迎えました。諸大徳の想いを受け継ぎ、そして次の代へ引き継ぐべく、今後とも会長として、僧侶として精進して参る所存です。

会員数は年々減少傾向にありますが、持ち前の結束力とフットワークの軽さを活かし、50周年への第一歩を踏み出していきます。毎年恒例となりました勉強会と研修会、太鼓衆「天鼓雷音」による演奏活動にも変わらず力を入れて参ります。浅学非才の身ではありますが、越後仏青の発展のため尽力する所存です。

何卒、今後とも青年僧侶の活動にお力添えを賜りたく、ここにお願いを申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

「南無大師遍照金剛」

金剛合掌